

大学等名	和洋女子大学
プログラム名	デジタル・データサイエンス教育プログラム

プログラムを構成する授業科目について

- ① 対象となる学部・学科名称 ② 教育プログラムの修了要件 学部・学科によって、修了要件は相違しない

③ 修了要件

共通総合科目「**パソコンの基礎と応用**」「**AI・データサイエンス基礎**」2単位を必須科目とし、これに加えて、共通総合科目「数理と発想」及び専門教育科目から1単位以上、合計3単位以上を取得すること。
 共通総合科目(必須科目):「**パソコンの基礎と応用**」「**AI・データサイエンス基礎**」
 共通総合科目:「数理と発想」
 専門教育科目:「日本語学特殊演習Ⅰ」、「心理学統計法」、「観光文化と分析」、「**栄養情報処理実習**」、「**統計情報処理実習**」、「保健統計学」、「保健医療情報学」

必要最低単位数 3 単位 履修必須の有無 令和7年度までに履修必須とする計画

④ 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-6	授業科目	単位数	必須	1-1	1-6
パソコンの基礎と応用 AI・データサイエンス基礎	2	○	○	○					
数理と発想	2			○					
日本語学特殊演習Ⅰ	2			○					
観光文化と分析	2			○					
保健医療情報学	2			○					

⑤「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-2	1-3	授業科目	単位数	必須	1-2	1-3
パソコンの基礎と応用 AI・データサイエンス基礎	2	○	○	○					
数理と発想	2		○	○					
日本語学特殊演習Ⅰ	2		○	○					
観光文化と分析	2		○						
保健医療情報学	2		○						

⑥「様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-4	1-5	授業科目	単位数	必須	1-4	1-5
パソコンの基礎と応用 AI・データサイエンス基礎	2	○	○	○					
数理と発想	2			○					
日本語学特殊演習Ⅰ	2		○	○					
心理学統計法	2			○					
観光文化と分析	2		○						
保健医療情報学	2			○					

⑦「活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	3-1	3-2	授業科目	単位数	必須	3-1	3-2
パソコンの基礎と応用 AI・データサイエンス基礎	2	○	○	○					
観光文化と分析	2		○						
保健医療情報学	2		○	○					

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
パソコンの基礎と応用AI・データサイエンス基礎	2	○	○	○	○						
数理と発想	2		○	○							
日本語学特殊演習 I	2		○	○	○						
心理学統計法	2		○	○							
観光文化と分析	2		○								
栄養情報処理実習統計情報処理実習	1			○	○						
保健統計学	2			○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素		講義内容
(1) 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	今日の社会におけるコンピュータ: Society5.0、第4次産業革命におけるIT機器の位置づけ、コンピュータの基本機能を学ぶ(「パソコンの基礎と応用」「AI・データサイエンス基礎」第2回)
	1-6	ガイダンスとパソコンの基礎: AIの最新技術の活用例を挙げ、社会に急速に浸透しつつあるデータサイエンスおよびAIがどのようなものかを解説し、授業内容の説明をする。パソコンの利用方法を習得する(「パソコンの基礎と応用」「AI・データサイエンス基礎」第1回) ビッグデータとデータサイエンス: データの種類、データ・AIの活用領域の広がりを確認する、膨大なデータを作成する、データの比較、読み解く計算科学の新しい手法を紹介する。データ・AIの活用領域の広がり学ぶ(「数理と発想」第14回) 機械学習とAI: 知識発見、機械学習(探索的データ解析、データ解析と推論)という発想、その産物である人工知能(AI)といったAIの最新技術の活用を知る(「数理と発想」第15回) 研究データの収集: 様々な研究対象、研究方法と適したデータ収集方法等のAIの最新技術の活用の解説(「日本語学特殊演習 I」第2回) 電子テキストの作成: 電子テキストデータの作成方法等のAIの最新技術の活用の解説と実習(「日本語学特殊演習 I」第3回) 観光における分析の必要性: AI最新技術の活用例を基この授業で何を学ぶか。なぜそれが必要か(「観光文化と分析」第1回) 観光関連のデータを見る: AI等を活用した新しいビジネスモデルを参考に観光に関するデータの実例を通じて適切な使用方法(ELSI等)を学ぶ(「観光文化と分析」第2～4回) 医療情報システムの現状: 電子カルテに入力する1次データと検査結果等の画像データ(非構造化データ)を扱っている電子カルテシステム、オーダーリングシステム等の医療におけるAIの最新技術の活用の概要(「保健医療情報学」第8回)
(2) 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	データサイエンス基礎: データサイエンスの発想とデータのオープン化の有用性、データサイエンスのサイクルを知る。データの集計等データを扱うことを実践する。(「パソコンの基礎と応用」「AI・データサイエンス基礎」第14回) ビッグデータとデータサイエンス: データの種類、データ・AIの活用領域の広がりを確認する、膨大なデータを作成する、データの比較、読み解く計算科学の新しい手法を紹介する。データ・AIの活用領域の広がり学ぶ。(「数理と発想」第14回) 電子テキストの作成: 電子テキストデータの作成方法等の解説と実習(オープンデータの利活用と言語アノテーションなど)、および自然言語処理分野におけるAIの最新技術の活用のに関する解説と実習(「日本語学特殊演習 I」第3回) 観光関連のデータを見る: AI等を活用した新しいビジネスモデルを参考に観光に関する調査データや実験データ等の実例を通じて適切な使用方法(ELSI等)を学ぶ(「観光文化と分析」第2～4回) 医療情報システムの現状: 電子カルテに入力する1次データと検査結果等の画像データ(非構造化データ)を扱っている電子カルテシステム、オーダーリングシステム等の医療におけるAIの最新技術の活用の概要(「保健医療情報学」第8回)
	1-3	AI 基礎: データ・AI活用領域の広がりなどAI とはそもそもどのようなものか基本を理解する(「パソコンの基礎と応用」「AI・データサイエンス基礎」第15回) コンピュータシミュレーション: コンピュータを利用したシミュレーションの基礎と最先端を知る、データ・AIの活用領域の広がり学ぶ。(「数理と発想」第13回) ビッグデータとデータサイエンス: データの種類、データ・AIの活用領域の広がりを確認する、膨大なデータを作成する、データの比較、読み解く計算科学の新しい手法を紹介する。データ・AIの活用領域の広がり学ぶ。(「数理と発想」第14回) 機械学習とAI: 知識発見・機械学習(探索的データ解析、データ解析と推論)という発想、その産物である人工知能(AI)といったAIの最新技術の活用を知る(「数理と発想」第15回) データの分析(3): 仮説検証、計画策定等データマイニングについての解説と実習(「日本語学特殊演習 I」第8回)

(3) 様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域（流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等）の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	Excel の基礎：絶対参照・相対参照を修得する、データを基にしたグラフ種選択と作成などデータの可視化を修得する（「 パソコンの基礎と応用 」「 AI・データサイエンス基礎 」第9、10回） Excel の応用：VBA を使ってデータ解析でプログラミングを経験する（「 パソコンの基礎と応用 」「 AI・データサイエンス基礎 」第13回） データの分析：言語分野における非構造化データ処理（自然言語処理）に基づくデータ解析と、解析結果の集計・分析（グルーピング、パターン発見を含む）・可視化（グラフ作成）の解説と実習（「日本語学特殊演習Ⅰ」第3～6回） データ分析の方法：基本統計量、データフィルタ、エクセルでの計算・分析、回帰分析のデータ解析を学ぶ（「観光文化と分析」第8～10回）
	1-5	データサイエンス基礎：データサイエンスの発想とデータのオープン化の有用性、データサイエンスのサイクルを知る。データの集計等データを扱うことを実践する（「 パソコンの基礎と応用 」「 AI・データサイエンス基礎 」第14回） 機械学習とAI：知識発見・機械学習（探索的データ解析、データ解析と推論）という発想、その産物である人工知能（AI）といったAIの最新技術の活用を知る（「数理と発想」第15回） データサイエンスの実践：収集データの集計・分析の解説と実習、計量・統計手法に基づくデータ分析の解説と実習、データマイニングについての解説と実習を通じたデータサイエンスのサイクルの実践・修得。自然言語処理・言語施策・言語教育・辞書編纂などにおけるデータ・AI利活用事例の紹介（「日本語学特殊演習Ⅰ」第1回、第6～15回） 心理測定的一般理論：恒常法、調整法、極限法などの一般的な心理測定法について。AI利活用事例の紹介（「心理学統計法」第2回） 数値の理解の仕方：諸種のグラフとその使い方について、データサイエンスのサイクルを学ぶ（「心理学統計法」第3回） 将来動向：ディープラーニング等、最新のAI技術とその先にあるもの、AI利活用事例の紹介（「保健医療情報学」第13回）
(4) 活用に当たっての様々な留意事項（ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等）を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	安全なネットの利用：WebやSNSでの、セキュリティー、マナー、ルール等AI社会原則について学ぶ（「 パソコンの基礎と応用 」「 AI・データサイエンス基礎 」第4回） 観光関連のデータを見る：AI等を活用した新しいビジネスモデルを参考に観光に関する調査データや実験データ等の事例を通じて適切な使用方法（ELSI等）を学ぶ（「観光文化と分析」第2～4回） セキュリティーと管理：システムのセキュリティー対策と情報を守る管理手段等データ倫理について学ぶ（「保健医療情報学」第9回）
	3-2	安全なネットの利用：WebやSNSでの、セキュリティー、マナー、ルール等AI社会原則について学ぶ（「 パソコンの基礎と応用 」「 AI・データサイエンス基礎 」第4回） セキュリティーと管理：システムのセキュリティー対策と情報を守る管理手段等データ倫理について学ぶ（「保健医療情報学」第9回）
(5) 実データ・実課題（学術データ等を含む）を用いた演習など、社会での事例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	Excel の基礎3：データを基にしたデータ表現やグラフ種選択と作成を修得する（「 パソコンの基礎と応用 」「 AI・データサイエンス基礎 」第10回） ビッグデータとデータサイエンス：データの種類、データ・AIの活用領域の広がりを確認する、膨大なデータを作成する、データの比較、読み解く計算科学の新しい手法を紹介する。データ・AIの活用領域の広がり学ぶ。（「数理と発想」第14回） 言語データの統計的分析：言語統計の基礎（データの種類、データの分布やばらつき、記述統計と推計統計、母集団と標本抽出、相関分析、検定など）についての解説と、実データに基づくクロス集計表の作成、基礎統計量（代表値、分散等）の算出と検定の実践（「日本語学特殊演習Ⅰ」第6～8回、第13～15回） 統計学の知識：平均値、分散、分布の形などの読み方、気を付け方、定義の重要性、読み取り方の注意点、二変量の分析の基礎・注意点（「観光文化と分析」第5～7回） 正規分布とその性質を使って：標準正規分布の特徴と偏差値などの応用方法（「心理学統計法」第7回） 連関と相関をめぐって：諸種の相関係数とその考え方および因果律について（「心理学統計法」第8回）
	2-2	Excelの基礎3：データ表現やデータを基にしたグラフ種選択と作成を修得する（「 パソコンの基礎と応用 」「 AI・データサイエンス基礎 」第10回） ビッグデータとデータサイエンス：データの種類、データ・AIの活用領域の広がりを確認する、膨大なデータを作成する、データの比較、読み解く計算科学の新しい手法を紹介する。データ・AIの活用領域の広がり学ぶ（「数理と発想」第14回） データの可視化：さまざまなデータ表現（表・グラフの種類）とその選択や的確な作成法、不適切なグラフ表現についての解説、および実データを用いたグラフ作成およびグラフを使ったプレゼンテーション（「日本語学特殊演習Ⅰ」第6～15回） 代表値、散布度、統計量－数による基本的な表現方法－：基本的な統計量を求め、その意味づけと利用の仕方、データの表現を学ぶ（「心理学統計法」第6回） 正規分布とその性質を使って：標準正規分布の特徴と偏差値などの応用方法、データの図表表現（「心理学統計法」第7回） 正規分布とt分布について：データの比較、区間推定の考え方－神様しか知らない数字に近づく方法－（「心理学統計法」第9回） 統計的検定の考え方：データの比較、背理法による仮説検定のロジックと検定力について（「心理学統計法」第10回） 平均の差の検定1：データの比較、t分布を用いた検定法の理論を学ぶ（「心理学統計法」第11回） 基礎統計（数量データと質的データ）：データの種類に合わせた集計をし、データ表現（表にまとめる）をする（「 栄養情報処理実習 」第2～3回「 統計情報処理実習 」第8、9回） 記述統計とは：1変数の記述統計、代表値、散布度、歪度、尖度、グラフ等データ表現をする（「保健統計学」第5回） 推測統計の基本：確率論、推測の仕組み、正規分布、標本分布、P値と信頼区間についてデータの図表表現や比較をする（「保健統計学」第6回）

(5) 実データ・実課題 (学術データ等を含む) を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-3	Excel の応用1: IF 関数を使用して、データの集計や並び替えをし、条件判断を修得する(「パソコンの基礎と応用」「AI・データサイエンス基礎」第11回) Excel の応用2: データの並び替えやランキングをCOUNTIF、RANK関数を使ってデータ操作を学ぶ(「パソコンの基礎と応用」「AI・データサイエンス基礎」第12回) データサイエンス基礎: データサイエンスの発想とデータのオープン化の有用性、データサイエンスのサイクルを知る。データの集計等データを扱うことを実践する(「パソコンの基礎と応用」「AI・データサイエンス基礎」第14回) データの分析: 収集データの集計・分析の解説と実習、計量・統計手法に基づくデータ分析の解説と実習、データマイニングについての解説と実習(「日本語学特殊演習 I」第6～8回) 基礎統計③(t検定): 2群の平均値の比較について理解し、対応のある/対応のないt検定を実践し、データの集計をする(「栄養情報処理実習」第4回「統計情報処理実習」第10回) 基礎統計: クロス集計を行い、表にまとめる、χ^2 乗検定を実践し、データの集計をする(「栄養情報処理実習」第4～6回「統計情報処理実習」第10～12回) 2変数の記述統計: 量的2変数の相関、相関係数、順位相関係数、量的2変数の回帰直線、回帰係数、予測と誤差と切片の集計と解析のデータを扱う(「保健統計学」第7、8回) 推測統計の手法: t検定(データ集計)を行う(「保健統計学」第9回) 2変数の記述統計: 質的2変数の関連、クロス集計、関連係数、χ^2 値(「保健統計学」第10回) 多変量解析: 重回帰分析、適合度検定、ロジスティック回帰分析、生存時間分析、因子分析の集計、並び替え、分析のデータを扱う(「保健統計学」第11～13回) 調査のための統計学: 無作為抽出と無作為割付、標本数算のデータ集計を行う(「保健統計学」第14回)
--	------------	--

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

- ・「第4次産業革命」「Society5.0」「データ駆動型社会」などと呼ばれるこれからの時代において求められるデータサイエンスに関する基礎的な知識の習得
- ・情報・データ・リテラシー、つまり情報やデータを活用する際の留意事項の理解
- ・データの集計、分析、統計解析、およびデータの可視化方法と活用力
- ・AIに関する基礎的な知識の習得
- ・AIやデータサイエンスが社会や生活とどのようにかかわっているのかについての理解

髙谷 要

1071・1072・1073

【テーマ】PCを含むICTを活用するために必要な知識と技術を概説する。またwebセキュリティに関する注意事項、基本的なソフトウェアの使い方を詳説する。さらにプログラミング、IoT、AI、ビッグデータ、データサイエンスについて社会生活の中での利用について紹介する。

【授業概要】まず、PCの基本操作を、Windows、Officeアプリケーションを使用し、簡単な課題解決を通じて修得する。次に、現代社会において特に重要なリテラシーであるWebの安全な利用については、①セキュリティ上必須な操作の修得、②具体的な犯罪例と回避策の理解、③コミュニケーション上のマナー・モラルの修得、に重点を置く。また、今日の社会に急速に浸透しつつあるデータサイエンスおよびAIについて、そもそもどのようなものかを解説し、知らず知らずに接している高度な情報処理技術の発想と実用例について正しく理解する。さらに、Excel VBAを使用してプログラミングについても体験する。

【到達目標】Word、Excelを用いたレポート作成ができる。Webを利用する上でのセキュリティの知識やモラルが身についている。データサイエンスやAI、さらにプログラミングの基本を理解出来る。

【実務経験の有無】有

【実務経験の内容】企業向けソフトウェア開発、パソコンスクール講師の経験
実務経験を活かし、短時間で合理的にパソコンスキルを向上させる方法を説く。

【学位授与方針】和洋女子大学を理解し、大学での学びから社会人に向けた基礎力をつける。

【授業計画】

1回 ガイダンスとパソコンの基礎

授業内容の説明とパソコンの利用方法を習得する。

2回 今日の社会におけるコンピュータ

Society5.0、第4次産業革命におけるIT機器の位置づけ、コンピュータの基本機能を学ぶ。

3回 Web利用の基礎

ホームページの閲覧と電子メールの送受信法を学ぶ。

4回 安全なネットの利用

WebやSNSでの、セキュリティ、マナー、ルールを学ぶ。

5回 Wordの基礎 1

Microsoft Wordの説明と文章の入力・保存方法を習得する。

6回 Wordの基礎 2

文字の書体設定や印刷方法、書式設定について学ぶ。

7回 Wordの基礎 3

図や表の作成と文章中への挿入方法を習得する。

8回 Excelの基礎 1

数値の入力や設定を行い、計算式の作成方法について学ぶ。

9回 Excelの基礎 2

絶対参照・相対参照を修得する。

10回 Excelの基礎 3

データを基にしたグラフ種選択と作成を修得する。

11回 Excelの応用 1

IF関数で条件判断を修得する。

12回 Excelの応用 2

COUNTIF、RANK関数を使ったデータ操作を学ぶ。

13回 Excelの応用 3

VBAを使ってプログラミングを経験する。

14回 データサイエンス基礎

データサイエンスの発想と有用性を知る。

15回 AI基礎

AIとはそもそもどのようなものか基本を理解する。全体のフィードバックを行う。

【教科書名】特に指定しない

【参考図書】特に指定しない

【評価方法】Wordでのレポート作成(20)、Excelの小テスト(40)を課し成績に加味する。最終課題としてWordとExcelを同時に使ったレポート作成(40)の、100点満点で採点する。

【履修について】特になし

【事前・事後学習等】

事前学習：適宜授業時にPCを使った課題を指示する。

自宅に正規のOfficeが必要である。(1.0h)

事後学習：適宜オンデマンド課題を指示する。(1.5h)

【キーワード】ICT／アクティブラーニング

【備考】受講に際して、自宅でもパソコン環境（インターネットに接続されMicrosoft Officeが使えるもの）を整えておく必要がある。Windows、Macは問わない。講義の一部がオンデマンドになることがある。

豊谷 要

1317

【テーマ】 数学的発想や思考について概観し、数学的なものの見方、考え方をすることを目標にする。合わせて数学がコンピュータと共にどのように社会生活に役立つのかを説き、数学を身近に感じてもらいたい。

【授業概要】 導入として、算数から発展した一般的な数学の問題の解法について考える。続いて、微分、積分、数列、行列、ベクトル、素数、虚数、確率論などから、数学の視点を概観する。また、コンピュータと数学の接点に着目し、行列、ベクトル、虚数などがコンピュータ上での演算ツールとして驚異的な活躍を遂げたことを説く。さらに、コンピュータシミュレーションの考え方、ビッグデータ、機械学習とAIなど新しいデータサイエンスの視点を社会生活と関連付けながら紹介する。

【到達目標】 数学的思考の基本となる、微分、積分、数列、行列、ベクトル、確率論の他、いくつかの重要な公理や定理について理解する。コンピュータ上での数学の利用について、機械学習やAIなど新しいデータサイエンスの視点を社会生活と関連付けて理解する。

【実務経験の有無】 有

【実務経験の内容】 企業および大学付置研究所で分光分析業務および計算化学、更に薬剤開発に従事した。また、企業の生産管理システムの設計、開発の経験を持つ。

その経験を活かし数学が現代の生活にコンピュータを介して非常に役立っていることを、非接触ICチップ、気象予測、AI等の具体例から紹介している。

【学位授与方針】 生活科学の基礎知識を身につけ、家政学や自然科学を理解し活用できる力をつける。

【授業計画】

1回 本講座を受講するための心構え

本講座を受講すべきかどうかを判断するための説明を行う。

2回 身近な問題を考える (1)

つるかめ算の解き方を多角的に考える。

3回 身近な問題を考える (2)

算数から発展した問題の解き方を考える。

4回 歴史的な数学の問題

四色問題やフェルマーの最終定理を紹介する。

5回 極限と微分

極限と微分の考え方を理解し実生活との接点を考える。

6回 微分から積分へ

微分と積分が表裏の関係にある事を知る。

7回 定積分

積分の考え方を理解し実生活との接点を考える。

8回 虚数と素数

役に立つ虚数と謎の多い素数について知る。

9回 確率論

確率の考え方を理解し実生活での応用例を考える。

10回 行列

行列と行列演算の基本を理解する。

11回 ベクトル

現代のコンピュータにおいて極めて重要なベクトルを理解する。

12回 数列と行列漸化式

行列漸化式を用いた将来予測問題を考える。

13回 コンピュータシミュレーション

コンピュータを利用したシミュレーションの基礎と最先端を知る。

14回 ビッグデータとデータサイエンス

膨大なデータを読み解く計算科学の新しい手法を紹介する。

15回 機械学習とAI

機械学習という発想、その産物である人工知能 (AI) を知る。全体のフィードバックを行う。

【教科書名】 なし

【参考図書】 なし

【評価方法】 期末試験 (筆記) で評価する。

【履修について】 なし

【事前・事後学習等】

事前学習: AI・データサイエンス関係で、各回の授業で指示する。(1.0h)

事後学習: AI・データサイエンス関係で、各回の授業で指示する。(2.0h)

【キーワード】 ICT／アクティブラーニング／対話型授業

【備考】 本格的な数学の講義では無いことを承知し、講義内容については必ず初回授業で確認して履修を決定すること。
2022年度からは文科省の新プログラム「数理・データサイエンス・AI」を指向するため内容の一部を変更している。

間淵 洋子

2098

【テーマ】データサイエンスの実践として、ICTを活用した日本語研究を行う。さまざまな日本語資料を電子テキスト化し計量的に分析する研究手法について、実践を通して指導する。

【授業概要】受講生の興味に合わせて、調査対象・内容を設定し、調査データ（文献資料、作品、アンケート、音声データ、Web上の言語データ等）を収集、電子テキスト化する。これを用いて、計量的に言語データを分析し、資料の特質や特定表現の使用実態を解明する。受講生の発表と議論を中心に授業を進める。

【到達目標】日本語をデータに基づき客観的に分析できる。各種ツールを用いてテキストを計量的・統計的に分析することができる。分析結果を明確にアウトプット（発表・レポート）することができる。

【実務経験の有無】有

【実務経験の内容】話し言葉、書き言葉、歴史資料のコーパス（言葉のデータベース）の設計・構築に携わった。
（自身が開発に関わったデータベースを含めた）データを用いた日本語研究の方法について、実践的に授業を行う。

【学位授与方針】日本語の歴史や特質、現代語の様相と形成についての知識を有している。（日文）

「書」の指導者として必要な書法・書学の専門的能力と知識を有している。（書道）

関心・興味に応じて特化した分野・領域での専門的な知識と創作技能・表現力を身につけている。（文芸）

【授業計画】

1回 ガイダンス

授業の進め方、データに基づく日本語研究の意義

2回 研究データの収集

様々な研究対象、研究方法と適したデータ収集方法の解説

3回 電子テキストの作成

電子テキストの作成方法の解説と実習

4回 電子テキストの作成実践報告（1）

学生による電子テキストの作成実践報告と議論、フィードバック

5回 電子テキストの作成実践報告（2）

学生による電子テキストの作成実践報告と議論、フィードバック

6回 データの分析（1）

収集データの集計・分析の解説と実習

7回 データの分析（2）

計量・統計手法に基づくデータ分析の解説と実習

8回 データの分析（3）

データマイニングについての解説と実習

9回 調査報告（1）

学生による研究課題の調査報告、議論、フィードバック

10回 調査報告（2）

学生による研究課題の調査報告、議論、フィードバック

11回 調査報告（3）

学生による研究課題の調査報告、議論、フィードバック

12回 調査報告（4）

学生による研究課題の調査報告、議論、フィードバック

13回 フィードバック

研究の発展に向けてのフィードバック

14回 追加調査報告（1）

学生による追加調査とレポート展望報告、議論、フィードバック

15回 追加調査報告（2）と総括（フィードバックを含む）

学生による追加調査とレポート展望報告、議論、フィードバック

【教科書名】なし

【参考図書】李在鎬編(2017)『文章を科学する』ひつじ書房／伊藤雅光(2002)『計量言語学入門』大修館書店

【評価方法】授業への積極的参加（質問・議論、リフレクションペーパー）40％／発表40％／レポート20％

【履修について】PCを用いた自宅学習環境が必要。

【事前・事後学習等】

事前学習： 指定の資料を読む、発表資料やスライドを準備する（2.0h）

事後学習： ツールを用いた実践を復習する（2.0h）

【キーワード】双方向授業／対話型授業／ICT／アクティブラーニング／ディスカッション／プレゼンテーション／PBL

【備考】毎時間、理解の確認を兼ねたリフレクションシート提出を課す。積極的に質問し意見を述べる。次回授業で回答しフィードバックする。ツールの操作やデータ準備・調査進捗状況は随時確認し、発表に対しコメントする。受講者数により授業予定・内容を変更する場合がある。

【テーマ】心理学において行われる実験や調査等で得られたデータを分析する際に求められる基本的な心理統計法の考え方やデータの処理方法を学び、心理学的なアプローチによってどのように対象の理解を作り上げていくかについての基礎を学ぶ。

【授業概要】事実の認識についての科学哲学的な観点の理解（統計の歴史を含む）、代表値や散布度といった基礎的な統計学（標本抽出、確率等）を含む実際の諸種の心理統計的手法について、電卓を用いて実際に数値計算を含む演習を行いながらその基本原理を理解する。

【到達目標】事実認識についての科学哲学的な観点から始まり、基礎的な統計学を含む実際の諸種の心理統計的手法についてその基本原理を理解する。

【学位授与方針】事実を知るためのデータを適切に収集し分析する力、人と人の関係を円滑にするコミュニケーション力、人の心の基礎を理解し人を支える力を身につけている。

【授業計画】

- 1回** 科学哲学から見た「事実」とは
主観と客観の意味づけと科学的な事実について講義する
- 2回** 心理測定的一般理論
恒常法、調整法、極限法などの一般的な心理測定法について
- 3回** 数値の理解の仕方－図表による視覚的なデータの理解－
諸種のグラフとその使い方について
- 4回** 教育・心理統計法の基礎について
数学的な記号の使い方ならびにその意味を復習する
- 5回** 4つの尺度（名義、順序、間隔、比率）について
Stevensの提唱する4つの尺度について
- 6回** 代表値、散布度、統計量－数による基本的な表現方法－
基本的な統計量を求め、その意味づけと利用の仕方を学ぶ
- 7回** 正規分布とその性質を使って
標準正規分布の特徴と偏差値などの応用方法
- 8回** 連関と相関をめぐって
諸種の相関係数とその考え方および因果律について
- 9回** 正規分布とt分布について
区間推定の考え方－神様しか知らない数字に近づく方法－
- 10回** 統計的検定の考え方－犯人探しのロジック－
背理法による仮説検定のロジックと検定力について
- 11回** 平均の差の検定 1
t分布を用いた検定法の理論を学ぶ
- 12回** 分散の差の検定と実験計画法
実際にデータを用いてt検定を行って理解する
- 13回** データ分析のまとめ1
4つの尺度とその利用方法についてまとめる
- 14回** データ分析のまとめ2
検定について復習する
- 15回** まとめ（フィードバック含む）と試験
全体のまとめを行い、試験を実施する

【教科書名】特に指定しない。必要な場合には適宜資料を配付する。

【参考図書】David Howell, 2012, Statistical Methods for Psychology (8th revised ed). Wadsworth Publishing Company.

【評価方法】小テスト（30%）と試験（70%）による。

【履修について】基本的な四則演算について復習しておくこと。

【事前・事後学習等】

事前学習：配布物にあらかじめ目を通して予習する（2.0h）

事後学習：。授業後の内容を小テスト等で復習すること（2.0h）

【キーワード】ICT

【備考】電卓等計算機（関数電卓でもよい）を用意し、使えるようにしておくこと。またグラフ用紙等も用意しておくこと。

藤丸 麻紀

3308

【テーマ】観光関連のデータについて、インターネットで情報収集し、エクセル等で分析し、読み解くための統計的知識を学ぶ。

【授業概要】観光について分析し戦略を立てるためにデータが重要である。インターネットの情報の海の中から適切にデータを探し、エクセル等でデータ分析を行う方法と、それを読み解くための統計的知識を身につける。ビッグデータの活用も行う。自分でデータを分析する演習に力を入れる。

【到達目標】他の授業のレポートや卒業論文などでも必要となる情報収集・分析の技術を学ぶ。

【実務経験の有無】有

【実務経験の内容】シンクタンクで研究員としての勤務経験を有する

経験を生かして調査・研究に必要な分析方法を指導する科目である。

【学位授与方針】海外のどの社会・文化についても独自に調査・分析できる能力を身につけている。

【授業計画】

1回 観光における分析の必要性

この授業で何を学ぶか。なぜそれが必要か。

2回 統計データの見方・使い方

統計データはなぜ必要か、なぜ注意が必要か

3回 観光関連のデータを見る

観光に関するデータの実例を通じて適切な使用方法を学ぶ

4回 統計学の知識（1）

平均値、分散、分布の形などの読み方、気を付け方。

5回 統計学の知識（2）

定義の重要性、二変量の分析の基礎・注意点

6回 ビッグデータ分析ツール（1）

Googleトレンドで検索データを分析する

7回 ビッグデータ分析ツール（2）

AIテキストマイニングでテキストデータを分析する

8回 エクセル演習

エクセルによる計算、データ分析の基礎を学ぶ

9回 観光データの収集

JNTO、JTB、世界銀行の観光データの収集方法を学ぶ

10回 RESAS、V-RESAS

RESAS、V-RESASデータで何ができるかを学ぶ

11回 観光分析の実践（1）

観光ビジネスの動向をRESASで理解する

12回 観光分析の実践（2）

訪日外国人の滞在スタイルをRESASで分析する

13回 観光分析の実践（3）

RESAS以外のデータを収集・分析する

14回 観光分析の実践（4）

データからニーズを読み取り、観光マーケティング施策を提案する

15回 レポート作成・フィードバック

分析結果をレポートにまとめる。フィードバックも行う。

【教科書名】資料やリンクはmanabaで配布するため、ノートPCを持参すること。

【参考図書】特に指定しない。

【評価方法】授業への取り組みおよび提出課題による。

【履修について】データ分析に興味を持って取り組めること。各回、ノートPCを持参すること

【事前・事後学習等】

事前学習：授業以外の時間に行う課題を課す（2.0h）

事後学習：授業以外の時間に行う課題を課す（2.0h）

【キーワード】ICT／アクティブラーニング

永澤 貴昭

【テーマ】本実習では、健康栄養学科の学習に必要なエクセルの基本的な技術の習得とともに統計解析手法を実際のデータを活用しながら身につける。

【授業概要】健康栄養学科での授業や管理栄養士・栄養士と実際に活用する可能性がある栄養や健康に関するデータから、基本的な関数から応用的な関数、さらには比較・検討するための統計手法、および図表の作成について実践的に学ぶ。

【到達目標】エクセルによる関数での計算や検索を身につける。データを客観的に比較・検討するための知識と技術を身につけ、視覚的に理解しやすい図表が作成できるようになること。

【実務経験の有無】有

【実務経験の内容】管理栄養士として、さまざまな業界で専門職としてエクセルや統計解析を使用してきた。

管理栄養士・栄養士に必要なエクセル関数や統計解析について、実例などを踏まえて授業を展開する。

【学位授与方針】栄養士・管理栄養士に必要な基礎的な理論と技術を有している。

【授業計画】

1回 オリエンテーション

エクセル関数と統計解析

2回 エクセルの基本

エクセル基本操作とデータ入力

3回 エクセル関数①

オートサムや基本関数

4回 エクセル関数②

計算のために必要な関数

5回 エクセル関数③

整理、検索のために必要な関数

6回 エクセル関数④

図の作成

7回 エクセル関数の総括と統計学の基礎

エクセル関数の総括（中間テスト）と統計の基礎

8回 基礎統計①

データの種類（数量データと質的データ）に合わせた集計方法

9回 基礎統計②

データの種類に合わせた集計をして表にまとめる

10回 基礎統計③

2群の平均値の比較の理解と対応のある/対応のない t 検定を実践する

11回 基礎統計④

クロス集計を行い、表にまとめる

12回 基礎統計⑤

χ²乗検定を実践する

13回 基礎統計⑥

統計解析内容を図にまとめる

14回 統計解析の総括

本実習を通じて学習した統計解析内容の総括

15回 授業のまとめ（フィードバックを含む）

学びの達成度を確認する（期末テスト）

【教科書名】特になし

【参考図書】医療系のためのやさしい統計学入門（診断と治療社）

【評価方法】実習時間内に実施する中間テスト、期末テスト、課題の提出、授業態度を含め総合的に評価する。

【履修について】なし

【事前・事後学習等】

事前学習：授業テーマ内容について事前に確認しておく。（1.5h）

事後学習：授業内で学んだ内容を復習する（2.0h）

【キーワード】ICT／アクティブラーニング

【備考】健康栄養学科ではパソコンを利用した実習講義が多くあるため、本実習を通じてコンピューターに慣れる。PCの苦手な学生は1年生前期のうちにしっかりと練習する。manaba使用。

【テーマ】統計学の基礎を学びながら、保健・医療分野における応用例、実践例を理解する。統計処理の理論を理解し、実践する。
【授業概要】集団を対象とした健康問題を検討するに際して、複雑に絡み合った要因を分析し、健康水準を高める方策を探るための方法について学習する。看護の実践における統計学の意義とその数値処理の方法を学ぶ。

【到達目標】1.健康や疾病に関する統計を取る意味を理解する。

2.統計学の考え方と基本的な分析技術を習得する。

3.保健統計、人口統計の種類と評価法を理解する。

【学位授与方針】専門的知識・技能を活用する力を身につけている。（専門性）

【授業計画】

1回 授業の説明と分析環境整備

統計学の歴史、分析ソフトの導入

2回 保健統計学とは、人口統計学の基本、人口静態統計・人口動態統計

出生、死亡、死産、婚姻、離婚、再生産率

3回 統計学の基礎、質的・量的データ

1変数の記述統計、代表値、散布度、歪度、尖度、グラフ

4回 母集団と標本

母集団と標本を理解し、推定の考え方を理解する

5回 推測統計の基本、無作為抽出、標本数算出

確率論、推測の仕組み、正規分布、標本分布、P値と信頼区間

6回 平均値の差の検定1

t検定

7回 平均値の差の検定2

ノンパラメトリック検定、マンホイットニーU検定、ウィルコクソンW検定

8回 平均値の差の検定3

分散分析、多重比較

9回 相関と回帰

散布図、相関係数、回帰係数と予測

10回 回帰分析と交絡調整

重回帰分析、交絡調整の結果の見方

11回 クロス集計表分析

χ²乗分析

12回 多重ロジスティック回帰分析

ロジスティック回帰分析、交絡調整

13回 スクリーニング検査と統計分析

ROC曲線、ROC下面積

14回 生存時間分析

カプランマイヤー曲線、ログランク検定、比例ハザードモデル、ハザード比

15回 フィードバックとまとめ

第1～14回のまとめ

【教科書名】看護学生のための疫学・保健統計（浅野嘉延 著）南山堂

【参考図書】講義内で適宜紹介する。

【評価方法】授業参加状況（50%）、課題レポートと小テスト等（50%）から総合的に評価する。

【履修について】特になし

【事前・事後学習等】

事前学習：授業前には前回の復習と、シラバスの「内容」に記載されたキーワードについて事前に調べ、配布資料があれば目を通すこと。（0.5h）

事後学習：授業内容について簡便にまとめ、講義内で示された論文の抄読（1.0h）

【キーワード】対話型授業

【備考】講義資料はmanaba courseを介して配布され、質問は同「個別コレクション」で随時受け付けます。解析を行う講義ではパソコンを持参することが望ましいが、iPadでも受講可能である。

豊川 智之

4819・4820

【テーマ】保健医療における情報活用について、ベースとなる考え方、情報の収集・処理技術、ツールやシステム、最新動向と将来の方向性といった様々な視点から概説する。

【授業概要】看護師にとって情報技術は重要性を増している。本講義では、病院で採用が進んでいる医療情報システムから個人用の情報ツールまで、様々な情報機器の概要と、基礎となるコンピュータ技術について説明する。さらにそれらを扱う技術だけでなく、情報とは何か、看護現場ではどのような情報を扱うか、情報の保護と公開、看護情報に関する倫理や患者の権利等についても解説する。

【到達目標】情報の重要性和扱い方の知識を身に付けたいと、情報収集、処理、結論導出という流れとそれを実現するツールを知ること看護実践につながる情報処理能力を修得する。

【学位授与方針】専門的知識・技能を活用する力を身につけている。（専門性）

【授業計画】

1回 コンピュータの基礎、インターネット、代表的なソフトウェア

コンピュータの基本構成

2回 保健医療情報学とは

保健医療情報学と看護情報学、情報リテラシー

3回 情報倫理と法

プライバシーと守秘義務、個人情報保護、臨地実習と患者情報

4回 医療情報システム、電子データの利活用 1

ビッグデータ、リアルワールドデータ、レセプト病名

5回 医療情報システムの現状、電子データの利活用 2

オーダリングシステム、地域包括ケアシステムにおける利活用

6回 Wordの基礎1

文章の作成、入力機能、書式設定

7回 Wordの基礎2

文章全体の調整や図形の作成、印刷方法

8回 Excelの基礎1

文字と数値の入力、表の作成

9回 Excelの基礎2

データ入力、関数の活用

10回 Excelの基礎3

様々なグラフの作成

11回 Excelの応用1

統計学的な利活用、要約統計量

12回 PowerPointの基礎

文字入力、グラフ作成、WordやExcelとの連携

13回 PowerPointの応用

プレゼンテーション、eStat、公開統計情報

14回 複雑系シミュレーションの医療看護分野への応用

システム思考、System Dynamics、Agent Based Modeling

15回 AIと社会、機械学習の基礎と展望、講義全体のフィードバック

ディープラーニング等、最新のAI技術とその先にあるもの

【教科書名】太田勝正、前田樹海 編著、エッセンシャル看護情報学（医歯薬出版）

高橋尚子、木野富士男 著、アカデミックスキルとしてのICT活用（技術評論社）

【参考図書】Manabaで追加します。

【評価方法】授業参加状況（50%）、課題の提出状況（25%）、確認テスト（25%）等から総合的に評価する。

【履修について】特になし。

【事前・事後学習等】

事前学習：前回の復習と、シラバスの「内容」に記載されたキーワードについて事前に調べ、配布資料があれば目を通すこと。（0.5h）

事後学習：授業内容について簡便にまとめ、講義内で示された論文の抄読（1.0h）

【キーワード】ICT／アクティブラーニング／manaba course／ディスカッション／プレゼンテーション

【備考】講義資料はmanaba courseを介して配布され、質問は同「個別コレクション」で随時受け付けます。PCルームを利用しますが、パソコンを持参することで設定を見直せます。

〔日本文学文化学科 共通総合科目〕

授 業 科 目		授業 形態	修得単位数 (○印必修)				備 考	ナンバ リング
			1年	2年	3年	4年		
共 通 綜 合 科 目	和洋アビリティーズ	キャリアデザイン	演習	2				BA1 01
		基礎ゼミ	演習	②				BA0 02
		パソコンの基礎と応用	講義		2			BM1 01
		ベーシックラーニング	演習		2			BA0 01
		社会貢献とボランティア	演習		2			AU1 01
		インターンシップ	演習			2		OX3 01
		AI・データサイエンス基礎	講義		2			ST1 01
	和洋アビリティーズ科目 4単位以上							
	A群(人文科学系)	哲学への誘い	講義		2			PH1 01
		日本の文学	講義		2			JL1 01
		外国の文学	講義		2			LV1 01
		ジェンダーと文学	講義		2			LV1 02
		表現と創作	講義		2			LV1 03
		こんにちの文化	講義		2			LV1 04
		歴史学	講義		2			GH1 01
		日本の美術	講義		2			AY1 01
		西洋の美術	講義		2			AY1 02
		音楽の歴史	講義		2			MU1 01
		音楽の楽しみ	講義		2			MU1 02
		手書き文字の世界	演習		2			OT1 01
		漢字・かな文字の変遷	演習		2			OT1 02
	A群(人文科学系) 4単位以上							
	B群(社会科学系)	日本国憲法	講義		2			BW1 01
		憲法と人権	講義		2			BW1 02
		国際関係入門	講義		2			IT1 01
		経済の仕組み	講義		2			ED1 01
		社会の仕組み	講義		2			SC1 01
		20世紀の日本	講義		2			SC1 02
		家族と社会	講義		2			SC1 03
		家族と福祉	講義		2			SW1 01
	B群(社会科学系) 4単位以上							
	C群(生活科学系)	服装の科学	講義		2			CC1 01
		ファッションの文化	講義		2			HF1 01
		色彩の科学	講義		2			GL1 01
		健康と食生活	講義		2			FN1 01
		住まいとデザイン	講義		2			IN1 01
		社会福祉の展望	講義		2			SW1 02
		加齢と高齢者の科学	講義		2			OX1 01
		こどもと育児	講義		2			LS1 01
		生活にいかす化学	講義		2			AC1 01
		数理と発想	講義		2			GM1 01
		看護の知識	講義		2			NUA1 01
		ゼロカーボンと持続可能な社会	講義		2			GL1 03
	C群(生活科学系) 4単位以上							

〔日本文学文化学科 共通総合科目〕

授 業 科 目			授業 形態	修得単位数(○印必修)				備 考	ナンバ リング
				1 年	2 年	3 年	4 年		
共 通 総 合 科 目	基礎教養科目	D群(人間科学系)	心理の科学	講義		2			SL1 01
			家族とジェンダー	講義		2			GE1 01
			人間の発達	講義		2			EP1 01
			生命の科学	講義		2			AG1 01
			現代の教育	講義		2			E01 01
			文化遺産に学ぶ	講義		2			CF1 01
			生命と医療の倫理	講義		2			GL1 02
			女性と美容	講義		2			LC1 01
			健康の科学	講義		2			AS1 01
			スポーツ実習	実技		1			PE1 01
			フィットネス実習	実技		1			PE1 02
			D群(人間科学系) 4 単位以上						
	基礎教養科目 16単位以上								
	海外研修科目	海外語学研修	演習		2			履修任意	FE9 01
		海外文化研修	演習		2				FE9 02
海外研修科目(履修任意)									
外国語科目	英語 a - I	演習	①					FE1 01	
	英語 a - II	演習	①					FE1 02	
	英語 b - I	演習	①					FE1 03	
	英語 b - II	演習	①					FE1 04	
	日本語 a - I	演習		1			外国人留学生対象 4 単位必修	JA1 01	
	日本語 a - II	演習		1				JA1 02	
	日本語 b - I	演習		1				JA1 03	
	日本語 b - II	演習		1				JA1 04	
外国語科目 4 単位				外国人留学生は 8 単位					
共通総合科目 26単位以上									

表の見方

		修得単位数 (○印必修)			
		1 年	2 年	3 年	4 年
1年生で修得することが望ましいが、1年生以上でも修得できる、選択科目	2単位 ⇒	2			
1年生で修得することが望ましいが、1年生以上でも修得できる、必修科目	2単位 ⇒	②			
1～4年生の、どの学年で修得しても差し支えない、選択科目	2単位 ⇒	2			

〔心理学科 共通総合科目〕

授 業 科 目		授業形態	修得単位数 (○印必修)				備 考	ナンバリング
			1年	2年	3年	4年		
共通総合科目	和洋アビリティーズ	キャリアデザイン	演習	2				BA0 01
		基礎ゼミ	演習	②				BA0 02
		パソコンの基礎と応用	講義		2			BM1 01
		ベーシックラーニング	演習		2			BA0 03
		社会貢献とボランティア	演習		2			AU1 01
		インターンシップ	演習			2		OX3 01
		AI・データサイエンス基礎	講義		2			ST1 01
	和洋アビリティーズ科目 4単位以上							
	A群(人文科学系)	哲学への誘い	講義		2			PH1 01
		日本の文学	講義		2			JL1 01
		外国の文学	講義		2			LV1 01
		ジェンダーと文学	講義		2			LV1 02
		表現と創作	講義		2			LV1 03
		こんにちの文化	講義		2			LV1 04
		歴史学	講義		2			GH1 01
		日本の美術	講義		2			AY1 01
		西洋の美術	講義		2			AY1 02
		音楽の歴史	講義		2			MU1 01
		音楽の楽しみ	講義		2			OT1 01
		手書き文字の世界	演習		2			OT1 02
		漢字・かな文字の変遷	演習		2			OT1 03
	A群(人文科学系) 4単位以上							
	B群(社会科学系)	日本国憲法	講義		2			BW1 01
		憲法と人権	講義		2			BW1 02
		国際関係入門	講義		2			IT1 01
		経済の仕組み	講義		2			ED1 01
		社会の仕組み	講義		2			SC1 01
		20世紀の日本	講義		2			SC1 02
		家族と社会	講義		2			SC1 03
		家族と福祉	講義		2			SW1 01
	B群(社会科学系) 4単位以上							
	C群(生活科学系)	服装の科学	講義		2			CC1 01
		ファッションの文化	講義		2			HF1 01
		色彩の科学	講義		2			GL1 01
		健康と食生活	講義		2			FN1 01
		住まいとデザイン	講義		2			IN1 01
		社会福祉の展望	講義		2			SW1 02
		加齢と高齢者の科学	講義		2			OX1 01
		こどもと育児	講義		2			LS1 01
		生活にいかす化学	講義		2			AC1 01
		数理と発想	講義		2			GM1 01
		看護の知識	講義		2			NUA1 01
		ゼロカーボンと持続可能な社会	講義		2			GL1 03
	C群(生活科学系) 4単位以上							

〔心理学科 共通総合科目〕

授 業 科 目			授業 形態	修得単位数(○印必修)				備 考	ナンバ リング
				1年	2年	3年	4年		
共通 総合 科目	基礎教養科目	D群(人間科学系)	心理の科学	講義	2				SL1 01
			家族とジェンダー	講義	2				GE1 01
			人間の発達	講義	2				EP1 01
			生命の科学	講義	2				AG1 01
			現代の教育	講義	2				E01 01
			文化遺産に学ぶ	講義	2				CF1 01
			生命と医療の倫理	講義	2				GL1 02
			女性と美容	講義	2				LC1 01
			健康の科学	講義	2				AS1 01
			スポーツ実習	実技	1				PE1 01
			フィットネス実習	実技	1				PE1 02
	D群(人間科学系) 4単位以上								
	基礎教養科目 16単位以上								
合 科 目	海外研修 科目	海外語学研修	演習	2			履修任意	FE1 03	
		海外文化研修	演習	2				FE1 04	
目	海外研修科目(履修任意)								
	外国語 科目	英語 a - I	演習	①					FE0 01
		英語 a - II	演習	①					FE1 01
		英語 b - I	演習	①					FE0 02
		英語 b - II	演習	①					FE1 02
		日本語 a - I	演習	1			外国人留学生対象 4単位必修	JA0 01	
		日本語 a - II	演習	1				JA0 02	
		日本語 b - I	演習	1				JA0 03	
		日本語 b - II	演習	1				JA0 04	
	外国語科目 4単位				外国人留学生は 8単位				
共通総合科目 26単位以上									

表の見方

修得単位数 (○印必修)				
1年	2年	3年	4年	
2				⇒ 1年生で修得することが望ましいが、1年生以上でも修得できる、選択科目 2単位
②				⇒ 1年生で修得することが望ましいが、1年生以上でも修得できる、必修科目 2単位
	2			⇒ 1～4年生の、どの学年で修得しても差し支えない、選択科目 2単位

〔こども発達学科 共通総合科目〕

【資格】◎必修、○選択

授 業 科 目		授業 形態	修得単位数(○印必修)				資 格		備 考	ナンバ リング
			1年	2年	3年	4年	幼稚園	保育士		
共通 総合 科目	和洋 アビ リテ ィー ズ	キャリアデザイン	演習	2						BA1 01
		基礎ゼミ	演習	②						BA1 02
		パソコンの基礎と応用	講義		2		◎	○		BM1 01
		ベーシックラーニング	演習		2					BA1 03
		社会貢献とボランティア	演習		2					AU1 01
		インターンシップ	演習			2				OX3 01
		AI・データサイエンス基礎	講義		2					ST1 01
	和洋アビリティーズ科目 4単位以上									
	A 群(人文科学系)	哲学への誘い	講義		2					PH1 01
		日本の文学	講義		2					JL1 01
		外国の文学	講義		2					LV1 01
		ジェンダーと文学	講義		2					LV1 02
		表現と創作	講義		2					LV1 03
		こんにちの文化	講義		2					LV1 04
		歴史学	講義		2					GH1 01
		日本の美術	講義		2					AY1 01
		西洋の美術	講義		2					AY1 02
		音楽の歴史	講義		2					MU1 01
		音楽の楽しみ	講義		2					OT1 01
		手書き文字の世界	演習		2					OT1 02
		漢字・かな文字の変遷	演習		2					OT1 03
	A群(人文科学系) 4単位以上									
	B 群(社会科学系)	日本国憲法	講義		2		○	○		BW1 01
		憲法と人権	講義		2		○	○		BW1 02
		国際関係入門	講義		2					IT1 01
		経済の仕組み	講義		2					ED1 01
		社会の仕組み	講義		2					SC1 01
		20世紀の日本	講義		2					SC1 02
		家族と社会	講義		2					SC1 03
		家族と福祉	講義		2					SW1 01
	B群(社会科学系) 4単位以上									
	C 群(生活科学系)	服装の科学	講義		2					CC1 01
		ファッションの文化	講義		2					HF1 01
		色彩の科学	講義		2					GL1 01
		健康と食生活	講義		2					FN1 01
		住まいとデザイン	講義		2					IN1 01
		社会福祉の展望	講義		2					SW1 02
		加齢と高齢者の科学	講義		2					OX1 01
		こどもと育児	講義		2			○		LS1 01
		生活にいかす化学	講義		2					AC1 01
		数理と発想	講義		2					GM1 01
		看護の知識	講義		2					NUA1 01
		ゼロカーボンと持続可能な社会	講義		2					GL1 03
	C群(生活科学系) 4単位以上									

〔こども発達学科 共通総合科目〕

【資格】◎必修、○選択

授 業 科 目			授業形態	修得単位数(○印必修)				資 格		備 考	ナンバリング	
				1年	2年	3年	4年	幼稚園	保育士			
共通総合科目	基礎教養科目	D群(人間科学系)	心理の科学	講義		2						SL1 01
			家族とジェンダー	講義		2						GE1 01
			人間の発達	講義		2				○		EP1 01
			生命の科学	講義		2						AG1 01
			現代の教育	講義		2						E01 01
			文化遺産に学ぶ	講義		2						CF1 01
			生命と医療の倫理	講義		2						GL1 02
			女性と美容	講義		2						LC1 01
			健康の科学	講義		2			○	◎		AS1 01
			スポーツ実習	実技		1			○	○		PE1 01
			フィットネス実習	実技		1			○	○		PE1 02
	D群(人間科学系) 4単位以上											
	基礎教養科目 16単位以上											
海外研修科目	海外語学研修	演習		2					履修任意	FE1 01		
	海外文化研修	演習		2						FE1 02		
海外研修科目(履修任意)												
外国語科目	英語 a - I	演習	①					◎	◎		FE1 03	
	英語 a - II	演習	①					◎	◎		FE1 04	
	英語 b - I	演習	①					◎	◎		FE1 05	
	英語 b - II	演習	①					◎	◎		FE1 06	
	日本語 a - I	演習		1						外国人留学生対象 4単位必修	JA1 01	
	日本語 a - II	演習		1							JA1 02	
	日本語 b - I	演習		1							JA1 03	
	日本語 b - II	演習		1							JA1 04	
外国語科目 4単位				外国人留学生は 8単位								
共通総合科目 26単位以上												

表の見方

修得単位数(○印必修)				
1年	2年	3年	4年	
2				⇒ 1年生で修得することが望ましいが、1年生以上でも修得できる、選択科目 2単位
②				⇒ 1年生で修得することが望ましいが、1年生以上でも修得できる、必修科目 2単位
	2			⇒ 1～4年生の、どの学年で修得しても差し支えない、選択科目 2単位

〔英語コミュニケーション学科 共通総合科目〕

授 業 科 目		授業 形態	修得単位数 (○印必修)				備 考	ナンバ リング
			1年	2年	3年	4年		
共通 総合 科目	和洋 アビ リテ ィーズ	キャリアデザイン	演習	2				BA0 01
		基礎ゼミ	演習	②				BA0 02
		パソコンの基礎と応用	講義		2			BM1 01
		ベーシックラーニング	演習		2			BA0 03
		社会貢献とボランティア	演習		2			AU1 01
		インターンシップ	演習			2		OX3 01
		AI・データサイエンス基礎	講義		2			ST1 01
	和洋アビリティーズ科目 4単位以上							
	A群 (人文科学系)	哲学への誘い	講義		2			PH1 01
		日本の文学	講義		2			JL1 01
		外国の文学	講義		2			LV1 01
		ジェンダーと文学	講義		2			LV1 02
		表現と創作	講義		2			LV1 03
		こんにちの文化	講義		2			LV1 04
		歴史学	講義		2			GH1 01
		日本の美術	講義		2			AY1 01
		西洋の美術	講義		2			AY1 02
		音楽の歴史	講義		2			MU1 01
		音楽の楽しみ	講義		2			OT1 01
		手書き文字の世界	演習		2			OT1 02
		漢字・かな文字の変遷	演習		2			OT1 03
	A群(人文科学系) 4単位以上							
	B群 (社会科学系)	日本国憲法	講義		2			BW1 01
		憲法と人権	講義		2			BW1 02
		国際関係入門	講義		2			IT1 01
		経済の仕組み	講義		2			T01 01
		社会の仕組み	講義		2			SC1 01
		20世紀の日本	講義		2			SC1 02
		家族と社会	講義		2			SC1 03
		家族と福祉	講義		2			SW1 01
	B群(社会科学系) 4単位以上							
	C群 (生活科学系)	服装の科学	講義		2			CC1 01
		ファッションの文化	講義		2			HF1 01
		色彩の科学	講義		2			GI1 01
		健康と食生活	講義		2			FN1 01
		住まいとデザイン	講義		2			IN1 01
		社会福祉の展望	講義		2			SW1 02
		加齢と高齢者の科学	講義		2			OX1 01
		こどもと育児	講義		2			LS1 01
		生活にいかす化学	講義		2			AC1 01
		数理と発想	講義		2			GM1 01
		看護の知識	講義		2			NUA1 01
		ゼロカーボンと持続可能な社会	講義		2			GL1 01
	C群(生活科学系) 4単位以上							

〔英語コミュニケーション学科 共通総合科目〕

授 業 科 目			授業 形態	修得単位数(○印必修)				備 考	ナンバ リング
				1 年	2 年	3 年	4 年		
共 通 総 合 科 目	基礎教養科目	D群(人間科学系)	心理の科学	講義	2				SL1 01
			家族とジェンダー	講義	2				GE1 01
			人間の発達	講義	2				EP1 01
			生命の科学	講義	2				AG1 01
			現代の教育	講義	2				E01 01
			文化遺産に学ぶ	講義	2				CF1 01
			生命と医療の倫理	講義	2				GL1 02
			女性と美容	講義	2				LC1 01
			健康の科学	講義	2				AS1 01
			スポーツ実習	実技	1				PE1 01
			フィットネス実習	実技	1				PE1 02
			D群(人間科学系) 4 単位以上						
	基礎教養科目 16単位以上								
	海外研修科目	海外語学研修	演習	2			履修任意	FE9 01	
		海外文化研修	演習	2				FE9 02	
	海外研修科目(履修任意)								
	外国語科目	英語 a	演習	①				外国人留学生対象 4 単位必修	FE1 01
		英語 b	演習	①					FE1 02
		日本語 a - I	演習	1					JA1 01
		日本語 a - II	演習	1					JA1 02
		日本語 b - I	演習	1					JA1 03
		日本語 b - II	演習	1					JA1 04
	外国語科目 2 単位				外国人留学生は 6 単位				
共通総合科目 24単位以上									

表の見方

		修得単位数 (○印必修)			
		1 年	2 年	3 年	4 年
1年生で修得することが望ましいが、1年生以上でも修得できる、選択科目	2単位 ⇒	2			
1年生で修得することが望ましいが、1年生以上でも修得できる、必修科目	2単位 ⇒	②			
1～4年生の、どの学年で修得しても差し支えない、選択科目	2単位 ⇒	2			

〔国際学科 共通総合科目〕

授 業 科 目		授業形態	修得単位数 (○印必修)				備 考	ナンバリング
			1年	2年	3年	4年		
共通総合科目	和洋アビリティーズ	キャリアデザイン	演習	2				BA0 01
		基礎ゼミ	演習	②				BA0 02
		パソコンの基礎と応用	講義		2			BM1 01
		ベーシックラーニング	演習		2			BA0 03
		社会貢献とボランティア	演習		2			AU1 01
		インターンシップ	演習			2		OX3 01
		AI・データサイエンス基礎	講義		2			ST1 01
	和洋アビリティーズ科目 4単位以上							
	A群(人文科学系)	哲学への誘い	講義		2			PH1 01
		日本の文学	講義		2			JL1 01
		外国の文学	講義		2			LV1 01
		ジェンダーと文学	講義		2			LV1 02
		表現と創作	講義		2			LV1 03
		こんにちの文化	講義		2			LV1 04
		歴史学	講義		2			GH1 01
		日本の美術	講義		2			AY1 01
		西洋の美術	講義		2			AY1 02
		音楽の歴史	講義		2			MU1 01
		音楽の楽しみ	講義		2			OT1 01
		手書き文字の世界	演習		2			OT1 02
		漢字・かな文字の変遷	演習		2			OT1 03
	A群(人文科学系) 4単位以上							
	B群(社会科学系)	日本国憲法	講義		2			BW1 01
		憲法と人権	講義		2			BW1 02
		国際関係入門	講義		2			IT1 01
		経済の仕組み	講義		2			T01 01
		社会の仕組み	講義		2			SC1 01
		20世紀の日本	講義		2			SC1 02
		家族と社会	講義		2			SC1 03
		家族と福祉	講義		2			SW1 01
	B群(社会科学系) 4単位以上							
	C群(生活科学系)	服装の科学	講義		2			CC1 01
		ファッションの文化	講義		2			HF1 01
		色彩の科学	講義		2			GI1 01
		健康と食生活	講義		2			FN1 01
		住まいとデザイン	講義		2			IN1 01
		社会福祉の展望	講義		2			SW1 02
		加齢と高齢者の科学	講義		2			OX1 01
		こどもと育児	講義		2			LS1 01
		生活にいかす化学	講義		2			AC1 01
		数理と発想	講義		2			GM1 01
		看護の知識	講義		2			NUA1 01
		ゼロカーボンと持続可能な社会	講義		2			GL1 01
	C群(生活科学系) 4単位以上							

〔国際学科 共通総合科目〕

授 業 科 目			授業 形態	修得単位数 (○印必修)				備 考	ナンバ リング
				1 年	2 年	3 年	4 年		
共 通 総 合 科 目	基礎教養科目	D 群（人間科学系）	心理の科学	講義		2			SL1 01
			家族とジェンダー	講義		2			GE1 01
			人間の発達	講義		2			EP1 01
			生命の科学	講義		2			AG1 01
			現代の教育	講義		2			E01 01
			文化遺産に学ぶ	講義		2			CF1 01
			生命と医療の倫理	講義		2			GL1 02
			女性と美容	講義		2			LC1 01
			健康の科学	講義		2			AS1 01
			スポーツ実習	実技		1			PE1 01
			フィットネス実習	実技		1			PE1 02
	D群（人間科学系） 4 単位以上								
	基礎教養科目 16単位以上								
海外研修科目	海外語学研修	演習		2			履修任意	FE9 01	
	海外文化研修	演習		2				FE9 02	
海外研修科目（履修任意）									
外国語科目	英語 a	演習	①				外国人留学生対象 4 単位必修	FE1 01	
	英語 b	演習	①					FE1 02	
	日本語 a－Ⅰ	演習		1				JA1 01	
	日本語 a－Ⅱ	演習		1				JA1 02	
	日本語 b－Ⅰ	演習		1				JA1 03	
	日本語 b－Ⅱ	演習		1				JA1 04	
外国語科目 2 単位				外国人留学生は 6 単位					
共通総合科目 24単位以上									

表の見方

		修得単位数 (○印必修)			
		1 年	2 年	3 年	4 年
1年生で修得することが望ましいが、1年生以上でも修得できる、選択科目	2単位 ⇒	2			
1年生で修得することが望ましいが、1年生以上でも修得できる、必修科目	2単位 ⇒	②			
1～4年生の、どの学年で修得しても差し支えない、選択科目	2単位 ⇒	2			

VI

国際学部 国際学科

〔服飾造形学科 共通総合科目〕

授 業 科 目		授業形態	修得単位数 (○印必修)				備 考	ナンバリング
			1年	2年	3年	4年		
和洋アビリティーズ	キャリアデザイン	演習	2					BA1 01
	基礎ゼミ	演習	②					BA0 02
	パソコンの基礎と応用	講義		2				BM1 01
	ベーシックラーニング	演習		2				BA0 01
	社会貢献とボランティア	演習		2				AU1 01
	インターンシップ	演習			2			OX3 01
	AI・データサイエンス基礎	講義		2				ST1 01
和洋アビリティーズ科目 4単位以上								
共通総合科目	A群(人文科学系)	哲学への誘い	講義	2				PH1 01
		日本の文学	講義	2				JL1 01
		外国の文学	講義	2				LV1 01
		ジェンダーと文学	講義	2				LV1 02
		表現と創作	講義	2				LV1 03
		こんにちの文化	講義	2				LV1 04
		歴史学	講義	2				GH1 01
		日本の美術	講義	2				AY1 01
		西洋の美術	講義	2				AY1 02
		音楽の歴史	講義	2				MU1 01
		音楽の楽しみ	講義	2				MU1 02
		手書き文字の世界	演習	2				OT1 01
		漢字・かな文字の変遷	演習	2				OT1 02
	A群(人文科学系) 4単位以上							
基礎教養科目	B群(社会科学系)	日本国憲法	講義	2				BW1 01
		憲法と人権	講義	2				BW1 02
		国際関係入門	講義	2				IT1 01
		経済の仕組み	講義	2				ED1 01
		社会の仕組み	講義	2				SC1 01
		20世紀の日本	講義	2				SC1 02
		家族と社会	講義	2				SC1 03
		家族と福祉	講義	2				SW1 01
	B群(社会科学系) 4単位以上							
	C群(生活科学系)	服装の科学	講義	2				CC1 01
		ファッションの文化	講義	2				HF1 01
		色彩の科学	講義	2				GL1 01
		健康と食生活	講義	2				FN1 01
		住まいとデザイン	講義	2				IN1 01
		社会福祉の展望	講義	2				SW1 02
		加齢と高齢者の科学	講義	2				OX1 01
		こどもと育児	講義	2				LS1 01
		生活にいかす化学	講義	2				AC1 01
		数理と発想	講義	2				GM1 01
		看護の知識	講義	2				NUA1 01
		ゼロカーボンと持続可能な社会	講義	2				GL1 03
	C群(生活科学系) 4単位以上							

〔服飾造形学科 共通総合科目〕

授 業 科 目			授業 形態	修得単位数(○印必修)				備 考	ナンバ リング
				1年	2年	3年	4年		
共 通 総 合 科 目	基礎教養科目	D群(人間科学系)	心理の科学	講義	2				SL1 01
			家族とジェンダー	講義	2				GE1 01
			人間の発達	講義	2				EP1 01
			生命の科学	講義	2				AG1 01
			現代の教育	講義	2				E01 01
			文化遺産に学ぶ	講義	2				CF1 01
			生命と医療の倫理	講義	2				GL1 02
			女性と美容	講義	2				LC1 01
			健康の科学	講義	2				AS1 01
			スポーツ実習	実技	1				PE1 01
			フィットネス実習	実技	1				PE1 02
			D群(人間科学系) 4単位以上						
	基礎教養科目 16単位以上								
	海外研修科目	海外語学研修	演習	2			履修任意	FE1 01	
		海外文化研修	演習	2				FE1 02	
	海外研修科目(履修任意)								
	外国語科目	英語 a - I	演習	①					FE1 03
		英語 a - II	演習	①					FE1 05
		英語 b - I	演習	①					FE1 04
		英語 b - II	演習	①					FE1 06
		日本語 a - I	演習	1			外国人留学生対象 4単位必修	JA1 01	
		日本語 a - II	演習	1				JA1 02	
		日本語 b - I	演習	1				JA1 03	
		日本語 b - II	演習	1				JA1 04	
外国語科目 4単位				外国人留学生は 8 単位					
共通総合科目 26単位以上									

表の見方

修得単位数 (○印必修)				
1年	2年	3年	4年	
2				1年生で修得することが望ましいが、1年生以上でも修得できる、選択科目 2単位 ⇒
②				1年生で修得することが望ましいが、1年生以上でも修得できる、必修科目 2単位 ⇒
	2			1～4年生の、どの学年で修得しても差し支えない、選択科目 2単位 ⇒

Ⅶ

家政学部 服飾造形学科

〔健康栄養学科 共通総合科目〕

授 業 科 目		授業形態	修得単位数 (○印必修)				備 考	ナンバリング
			1年	2年	3年	4年		
和洋アビリティーズ	キャリアデザイン	演習	2					BA0 01
	基礎ゼミ	演習	②					BA0 02
	パソコンの基礎と応用	講義		2				BM1 01
	ベーシックラーニング	演習		2				BA0 03
	社会貢献とボランティア	演習		2				AU1 01
	インターンシップ	演習			2			OX3 01
	AI・データサイエンス基礎	講義		2				ST1 01
和洋アビリティーズ科目 4単位以上								
共通総合科目	A群(人文科学系)	哲学への誘い	講義	2				PH1 01
		日本の文学	講義	2				JL1 01
		外国の文学	講義	2				LV1 01
		ジェンダーと文学	講義	2				LV1 02
		表現と創作	講義	2				LV1 03
		こんにちの文化	講義	2				LV1 04
		歴史学	講義	2				GH1 01
		日本の美術	講義	2				AY1 01
		西洋の美術	講義	2				AY1 02
		音楽の歴史	講義	2				MU1 01
		音楽の楽しみ	講義	2				MU1 02
		手書き文字の世界	演習	2				OT1 01
		漢字・かな文字の変遷	演習	2				OT1 02
	A群(人文科学系) 4単位以上							
基礎教養科目	B群(社会科学系)	日本国憲法	講義	2				BW1 01
		憲法と人権	講義	2				BW1 02
		国際関係入門	講義	2				IT1 01
		経済の仕組み	講義	2				ED1 01
		社会の仕組み	講義	2				SC1 01
		20世紀の日本	講義	2				SC1 02
		家族と社会	講義	2				SC1 03
		家族と福祉	講義	2				SW1 01
	B群(社会科学系) 4単位以上							
	C群(生活科学系)	服装の科学	講義	2				CC1 01
		ファッションの文化	講義	2				HF1 01
		色彩の科学	講義	2				GL1 01
		健康と食生活	講義	2				FN1 01
		住まいとデザイン	講義	2				IN1 01
		社会福祉の展望	講義	2				SW1 02
		加齢と高齢者の科学	講義	2				OX1 01
		こどもと育児	講義	2				LS1 01
		生活にいかす化学	講義	2				AC1 01
		数理と発想	講義	2				GM1 01
		看護の知識	講義	2				NUA1 01
		ゼロカーボンと持続可能な社会	講義	2				GL1 03
	C群(生活科学系) 4単位以上							

〔健康栄養学科 共通総合科目〕

授 業 科 目			授業 形態	修得単位数 (○印必修)				備 考	ナンバ リング	
				1年	2年	3年	4年			
共通 総 合 科 目	基礎教養科目	D群(人間科学系)	心理の科学	講義		2				SL1 01
			家族とジェンダー	講義		2				GE1 01
			人間の発達	講義		2				EP1 01
			生命の科学	講義		2				AG1 01
			現代の教育	講義		2				E01 01
			文化遺産に学ぶ	講義		2				CF1 01
			生命と医療の倫理	講義		2				GL1 02
			女性と美容	講義		2				LC1 01
			健康の科学	講義		2				AS1 01
			スポーツ実習	実技		1				PE1 01
			フィットネス実習	実技		1				PE1 02
	D群(人間科学系) 4単位以上									
	基礎教養科目 16単位以上									
海外研修科目	海外語学研修	演習		2			履修任意	FE1 01		
	海外文化研修	演習		2				FE1 02		
海外研修科目(履修任意)										
外国語科目	英語 a - I	演習	①					FE1 03		
	英語 a - II	演習	①					FE1 04		
	英語 b - I	演習	①					FE1 05		
	英語 b - II	演習	①					FE1 06		
	日本語 a - I	演習		1			外国人留学生対象 4単位必修	JA1 01		
	日本語 a - II	演習		1				JA1 02		
	日本語 b - I	演習		1				JA1 03		
	日本語 b - II	演習		1				JA1 04		
外国語科目 4単位				外国人留学生は 8単位						
共通総合科目 26単位以上										

表の見方

修得単位数 (○印必修)				
1年	2年	3年	4年	
2				⇒ 1年生で修得することが望ましいが、1年生以上でも修得できる、選択科目 2単位
②				⇒ 1年生で修得することが望ましいが、1年生以上でも修得できる、必修科目 2単位
	2			⇒ 1～4年生の、どの学年で修得しても差し支えない、選択科目 2単位

〔家政福祉学科 共通総合科目〕

【資格】◎必修、○選択

授 業 科 目		授業形態	修得単位数(○印必修)				資 格		備 考	ナンバリング
			1年	2年	3年	4年	社会福祉士	保育士		
科目 和洋アビリティーズ	キャリアデザイン	演習	2							BA1 01
	基礎ゼミ	演習	②					◎		BA0 01
	パソコンの基礎と応用	講義		2						BM1 01
	ベーシックラーニング	演習		2						BA0 02
	社会貢献とボランティア	演習		2						AU1 01
	インターンシップ	演習			2					OX3 01
	AI・データサイエンス基礎	講義		2						ST1 01
和洋アビリティーズ科目 4単位以上										
共通総合科目	A群(人文科学系)	哲学への誘い	講義	2						PH1 01
		日本の文学	講義	2						JL1 01
		外国の文学	講義	2						LV1 01
		ジェンダーと文学	講義	2						LV1 02
		表現と創作	講義	2						LV1 03
		こんにちの文化	講義	2						LV1 04
		歴史学	講義	2						GH1 01
		日本の美術	講義	2						AY1 01
		西洋の美術	講義	2						AY1 02
		音楽の歴史	講義	2						MU1 01
		音楽の楽しみ	講義	2						MU1 02
		手書き文字の世界	演習	2						OT1 01
		漢字・かな文字の変遷	演習	2						OT1 02
		A群(人文科学系) 4単位以上								
	B群(社会科学系)	日本国憲法	講義	2						BW1 01
		憲法と人権	講義	2						BW1 02
		国際関係入門	講義	2						IT1 01
		経済の仕組み	講義	2						ED1 01
		社会の仕組み	講義	2						SC1 01
		20世紀の日本	講義	2						SC1 02
		家族と社会	講義	2			◎			SC1 03
		家族と福祉	講義	2						SW1 01
		B群(社会科学系) 4単位以上								
	C群(生活科学系)	服装の科学	講義	2						CC1 01
		ファッションの文化	講義	2						HF1 01
		色彩の科学	講義	2						GL1 01
		健康と食生活	講義	2						FN1 01
		住まいとデザイン	講義	2						IN1 01
		社会福祉の展望	講義	2						SW1 02
		加齢と高齢者の科学	講義	2						OX1 01
		こどもと育児	講義	2						LS1 01
		生活にいかす化学	講義	2						AC1 01
		数理と発想	講義	2						GM1 01
		看護の知識	講義	2						NUA1 01
		ゼロカーボンと持続可能な社会	講義	2						GL1 03
		C群(生活科学系) 2単位以上								

〔家政福祉学科 共通総合科目〕

【資格】◎必修、○選択

授 業 科 目			授業形態	修得単位数(○印必修)				資 格		備 考	ナンバリング	
				1年	2年	3年	4年	社会福祉士	保育士			
共通総合科目	基礎教養科目	D群(人間科学系)	心理の科学	講義		2						SL1 01
			家族とジェンダー	講義		2						GE1 01
			人間の発達	講義		2						EP1 01
			生命の科学	講義		2						AG1 01
			現代の教育	講義		2						E01 01
			文化遺産に学ぶ	講義		2						CF1 01
			生命と医療の倫理	講義		2						GL1 02
			女性と美容	講義		2						LC1 01
			健康の科学	講義		2				◎		AS1 01
			スポーツ実習	実技		1				○		PE1 01
			フィットネス実習	実技		1				○		PE1 02
	D群(人間科学系) 3単位以上											
	基礎教養科目 13単位以上											
海外研修科目	海外語学研修	演習		2					履修任意	FE1 03		
	海外文化研修	演習		2						FE1 04		
海外研修科目(履修任意)												
外国語科目	英語科目	英語 a - I	演習	①					◎		FE1 01	
		英語 a - II	演習	①					◎		FE1 02	
		英語 b - I	演習	①					◎		FE1 05	
		英語 b - II	演習	①					◎		FE1 06	
		日本語 a - I	演習		1					外国人留学生対象 4単位必修	JA1 01	
		日本語 a - II	演習		1				JA1 02			
		日本語 b - I	演習		1				JA1 03			
		日本語 b - II	演習		1				JA1 04			
外国語科目 4単位				外国人留学生は 8単位								
共通総合科目 22単位以上												

表の見方

修得単位数(○印必修)				
1年	2年	3年	4年	
2				⇒ 1年生で修得することが望ましいが、1年生以上でも修得できる、選択科目 2単位
②				⇒ 1年生で修得することが望ましいが、1年生以上でも修得できる、必修科目 2単位
	2			⇒ 1～4年生の、どの学年で修得しても差し支えない、選択科目 2単位

〔看護学科 共通総合科目〕

授 業 科 目		授業形態	修得単位数 (○印必修)				備 考	ナンバリング
			1年	2年	3年	4年		
共通総合科目	科目 和洋アビリティーズ	キャリアデザイン	演習	2				BA1 01
		基礎ゼミ	演習	②				BA0 01
		パソコンの基礎と応用	講義		2			BM1 01
		ベーシックラーニング	演習		2			BA0 02
		社会貢献とボランティア	演習		2			AU1 01
		インターンシップ	演習			2		OX3 01
		AI・データサイエンス基礎	講義		2			ST1 01
	和洋アビリティーズ科目 4単位以上							
	A群(人文科学系)	哲学への誘い	講義		2			PH1 01
		日本の文学	講義		2			JL1 01
		外国の文学	講義		2			LV1 01
		ジェンダーと文学	講義		2			LV1 02
		表現と創作	講義		2			LV1 03
		こんにちの文化	講義		2			LV1 04
		歴史学	講義		2			GH1 01
		日本の美術	講義		2			AY1 01
		西洋の美術	講義		2			AY1 02
		音楽の歴史	講義		2			MU1 01
		音楽の楽しみ	講義		2			MU1 02
		手書き文字の世界	演習		2			OT1 01
		漢字・かな文字の変遷	演習		2			OT1 02
	A群(人文科学系) 4単位以上							
	B群(社会科学系)	日本国憲法	講義		2			BW1 01
		憲法と人権	講義		2			BW1 02
		国際関係入門	講義		2			IT1 01
		経済の仕組み	講義		2			ED1 01
		社会の仕組み	講義		2			SC1 01
		20世紀の日本	講義		2			SC1 02
		家族と社会	講義		2			SC1 03
		家族と福祉	講義		2			SW1 01
	B群(社会科学系) 2単位以上							
	C群(生活科学系)	服装の科学	講義		2			CC1 01
		ファッションの文化	講義		2			HF1 01
		色彩の科学	講義		2			GL1 01
		健康と食生活	講義		2			FN1 01
		住まいとデザイン	講義		2			IN1 01
		社会福祉の展望	講義		2			SW1 02
		加齢と高齢者の科学	講義		2			OX1 01
		こどもと育児	講義		2			LS1 01
		生活にいかす化学	講義		2			AC1 01
		数理と発想	講義		2			GM1 01
		看護の知識	講義		2			NUA1 01
		ゼロカーボンと持続可能な社会	講義		2			GL1 03
	C群(生活科学系) 2単位以上							

〔看護学科 共通総合科目〕

授 業 科 目			授業 形態	修得単位数 (○印必修)				備	考	ナンバ リング
				1年	2年	3年	4年			
共 通 総 合 科 目	基礎教養科目	D群(人間科学系)	心理の科学	講義	2					SL1 01
			家族とジェンダー	講義	2					GE1 01
			人間の発達	講義	2					EP1 01
			生命の科学	講義	2					AG1 01
			現代の教育	講義	2					E01 01
			文化遺産に学ぶ	講義	2					CF1 01
			生命と医療の倫理	講義	2					GL1 02
			女性と美容	講義	2					LC1 01
			健康の科学	講義	2					AS1 01
			スポーツ実習	実技	1					PE1 01
			フィットネス実習	実技	1					PE1 02
	D群(人間科学系) 4単位以上									
	基礎教養科目 12単位以上									
	海外研修科目	海外語学研修	演習	2				履修任意	FE9 01	
		海外文化研修	演習	2					FE9 02	
	海外研修科目(履修任意)									
	外国語科目	英語 a－Ⅰ	演習	①					FE1 01	
		英語 a－Ⅱ	演習	①					FE1 02	
		英語 b－Ⅰ	演習	①					FE1 03	
		英語 b－Ⅱ	演習	①					FE1 04	
	外国語科目 4単位									
共通総合科目 20単位以上										

【注】 本学では、保健師課程を履修する学生は、養護教諭二種免許も取得することとしている。したがって、日本国憲法（「日本国憲法」もしくは「憲法と人権」から2単位選択）、体育（「健康の科学」もしくは「スポーツ実習」もしくは「フィットネス実習」から2科目選択）、外国語コミュニケーション（「英語a - I」「英語a - II」「英語b - I」「英語b - II」）、情報機器の操作（「パソコンの基礎と応用」）の履修が必要となる。

なお、1年次後期の専門教育科目「保健医療情報学」は、保健師課程の必修科目であるため別途履修すること。

表の見方

		修得単位数 (○印必修)			
		1 年	2 年	3 年	4 年
1年生で修得することが望ましいが、1年生以上でも修得できる、選択科目	2単位 ⇒	2			
1年生で修得することが望ましいが、1年生以上でも修得できる、必修科目	2単位 ⇒	②			
1～4年生の、どの学年で修得しても差し支えない、選択科目	2単位 ⇒		2		

和洋女子大学デジタル・データサイエンス教育プログラム: プログラムの構成および企画実施・自己点検評価体制

